

8月の暮らし

台風の被害防止に万全を
旅の新生活運動

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行者 川西町 印刷所 星白1
 (町長 中村壮吉) 定価 5円

一人口の動き

8月1日現在

男	6,592人
女	6,839人
計	13,431人
世帯数	2,682世帯

新生活運動写真シリーズ

健全な肉体を作りましょう。

女性だてらにとひやかさないでください。天幕をガッチリ張って『さてこれからキャンプ生活の楽しみを。』



キャンプ生活、団体活動の規律、先生の指導が頭にこたえます。

- キャンプ場はきれいに……………
- 水を大切に使う……………
- 便所はよごさぬよう……………
- お互いに協力を惜しまず……………

八月の行事

- 一日 栄橋総会(役場)
- 二日 渡辺博士講演会(上野)
- 三日 郡市社会福祉大会
- 郡市青少年のつどい
- (一泊二日節黒城址)
- 五日 社教・公民館審議委員会
- 青年祭 一泊二日センター
- 六日 農業委員会(役場)
- 七日 川西地区農業改良推進委員会及普及所開所式(上野)
- 八日 国土調査会(役場)
- 九日 町会 十時(仙田中学校)
- 十一日 霧谷(中屋敷線調査)
- 十三日 お盆
- 十四日 小脇天王橋工事検査
- 十八日 橋脚委員会 橋連絡所
- 十九日 郡町村会
- 二十日 町農業委員選挙

変化を楽しもう

頭髮をスポーツマン刈りとやらにして、思いきって短くなった髪をなぜ出動したら、「刑務所帰り」といわれてがっかりした。夏だから、それらしくさっぱりしようと思つて髪を短くしたので、たしかに頭は軽しい気分も満点で、こんな良い消夏法はないとさえいつてもよい。

何よりも、自分ながら気づいたのは、とても良い気分転換になったことだ。

ひやかされながらも、このように消夏法でもあつたりする。わずか机の位置を動かすことぐらいのだが、ダラダラとやる事務能率の低下も、そんなことからある程度防げるよ。根本的な解決方法ではないかもしれないが、気分をあらたにすることが効果的な面をもっている。それはだれでも承知しているのだから、その気分転換の場を身近

町づくり

一度くらい事務室の机の配置換えをやっているという話しを思い出してみたりする。わずか机の位置を動かすことぐらいのだが、ダラダラとやる事務能率の低下も、そんなことからある程度防げるよ。根本的な解決方法ではないかもしれないが、気分をあらたにすることが効果的な面をもっている。それはだれでも承知しているのだから、その気分転換の場を身近

かな生活のなかに見つけてくふうする。そういう習慣を身につけると、案外、いつもフレッシュな感覚で生活ができ、仕事も能率が上がる(能率があがるのでなく、能率の低下を防ぐことができる、それだけでも効果的ではないか)と言つてもよい。

生活が固定していて、どうも、それが進歩をさまたげているのではないかと思われる面だつてある。「ただずまい」ということばがある。「岩のただずまい」というのがしっくりくるような、まさに不動のただずまい。そういう感覚が自分たちの生活を支配しすぎているなあと時々気になる。

変化を楽しむという意味で、家庭で室内装飾の位置を変えてみたり、本箱の位置をうごかしたり、あるいは専主たちがたまにはおひつこのそばにすわつてご飯をよそつてもよからう(「くだらん」といふ気をおこさないで)。

生活が固定しているということに観念が固定しているといつてもよい。そういう中からのびのびとした、明るいフイキは期待できそうもない。短髪にしてひやかされたのがとてもうれしかった。

町議会報告

中仙田小教室に転用

七月十一日に招集された臨時議会において、懸案の旧上野中学校舎転用の問題について「中仙田小教室の教室に転用する」と議決された。なお、これに伴って不要となる現中仙田小学校の教室を、仙田中学校及び定高のそれぞれに施設(教室・寄宿舎等)に転用する旨併せて議決され、この問題について最終的に方針が決定された。

決定までの経過

今春当初予算審議の当時から一つの問題点と見られていた旧上野中学校舎の転用については、すでに前々回(六月七日)の定例会でこれを中仙田へ移築することに一つ一応議決されていたが、その後具体化の段階において、町長案と地元仙田地区の要望との間に微妙な食い違いが生じ、解決を見ないまま推移していた。

校舎を中仙田小学校屋体の西方へ移築して、これを同小学校の教室として使用し、規格に合わない室の多い同校の現在の教室を仙田中学校及び定高の寄宿舎その他に転用することによって、中仙田小の教室増築と仙田中の寄宿舎問題を同時に解決しようというものである。

これに対して学校側並びに地区の要望は、現仙田中学校屋体の生徒玄関に接続して校庭の南側に移築し、これを中学校及び定高の寄宿舎並びに教室に利用したい、というもので、町長案では学校管理上の困難が伴うこと、現在中仙田地区唯一の総合グラウンドとなっている校庭を狭めることとなるので、現在の二百メートルコースもとれなくなり、野球その他体育上に大きな支障があること、現小学校教室と中学校舎を廊下でつなぐと冬期間の除雪や、中学校屋体への出入りに困難をきたすこと等々従来の主張をくり返して訴えた。

その他の

町長案を呑むこととなり、さしも難航したこの問題に終止符を打つこととなったのである。

議決事項

ほかに、この臨時会で審議決定された案件は次のとおりである。

◎上野小学校 屋体移転について

この問題についても、旧上野中学校舎移築とともに以前から検討されてきたものである。前回の定例会でも問題となっていた児童昇降口の取付位置、便所の位置、小使室の処置等についてようやく結論を得たので、早急に着手すべくこの臨時会に提案されたもの。

◎橘小学校便所 改築について

これもすでに当初予算に計上されているものであるが、夏休み中に施行する必要があるため、再確認という形で提出されたもの。工事は随契とすること、請負業者は小杉土建を指名することを併せて決定した。

◎三十八年度 予算更正について

一般会計支出の十三款諸支出金のうち、徴税費の固定資産調査費を四十二万三千三百七十七円追加したもの。これは、本年度は抽出調査の予定であった家屋調査について、来年度に予定されている全戸調査を本年度繰り上げて実施する調査を本年度繰り上げて実施する継続審議となった。

◎長福寺沢溜池 災害について

五月二十三日に発生した千手長福寺沢溜池災害の底層復旧工事六十一万九千円を町営で施行することを議決。なお、底層以外の災害特に国費査定にもれた小規模災害については、査定結果を待って検討すること等を申し合わせた。

◎町税減免について

去る二月雪害のため鶏舎三十四坪を失った新町新田の内山恵雄さんに対して県・町民税を、また五月三十日に火災で住家を焼失した大倉の中条増榮さんに対して県・町民税並びに固定資産税の免除を議決した。

◎専決処分報告 について

千手及び橘診療所会計について三十七年度分赤字を財政再建整備資金借り入れによって処理するため、町債六百九十三万八千二百五十五円の追加予算を専決したものと

◎請願

新町新田の小島園平さんから提出された「果樹畑畑についての助成申請」一件。本件については、個人の単独事業である点について助成の可否が論議されたが、結論を得ないまま産業委員会に付託、継続審議となった。

全員協議会を 現地に招集

八月九日、議員全員協議会を仙田中学校に招集して、七月十一日の臨時会で議決した旧上野中学校舎移築位置を現地に於いて検討しこれを確認した。

なお、臨時会において便所、風呂場の整備が附帯事項として議決されているので、これらについても現地において検討し、その結果について協議した。

普及所を統合

川西は十日町へ

八月一日県下十一カ所の普及所の統合が行なわれ、川西地区農業改良普及所は十日町地区、中魚沼中部地区の一部と合併して、新たに「十日町地区農業改良普及所」(電話十日町三、四一三番)として発足することになりました。

ことあるたびにかけつけた自分の圃場を迎えて指導を乞う等、オイラの普及所として杖とも柱とも頼りにして広く町内農家に親しまれてきました町の普及所が十日町へ合併されることは一見まことにさびしくもあり、心細いことでもあります。しかしこの数年農業も大きな変革期にあり、より大きい構造の改善や主産地形成へと進みつつあり少人数の指導員が農業

全般の広い指導を行なう弱体性を改善しなければならぬ時にきています。今度の統合によりそれぞれの部門の専門化された特技普及員の陣容が強化され、高度の技術指導がなされるよう、そしてその活動も従来より以上計画的濃密の指導が行なわれることを目的として合併の運びになったのであります。

今までもおりました以上に農家各位が普及所と強いつながりを持ち、よりよき農業のために一体の努力を続けていかれることが望まれます。

地元にも普及所があるのと違って遠くまで今までのような親密感がなくなるのではないかと、その声もよく聞かれますが、農家のこの声を当局も考慮して各農協とか役場内に連絡場所をもうけるとか、普及所よりの定期的な出張日をもつけるとか、各団体との連絡を密にする等いろいろな配慮を要望したいものと思えます。

なお、所長の平野氏は小千谷地区普及所へ、入田・上村・岩間・高橋普及員は十日町地区普及所へ配属がきまりました。

今後とも活躍を期待します。(センター理事)

平野所長談「昭和二十三年以来皆さまの普及所として愛顧ご利用いただいてまいりましたが、このたび県の方針により統合の運びとなりました。自立できる健全な農家の育成をめざして今後の活動も皆さまのご要請に十分答える体制ができておりますので、いろいろのご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。」

川西町 若人の祭典

町の青年連絡協議会(会長村越家)では公民館と共催して、さる四・五日の両日第二回の青年祭を催した。

この青年祭の行事は、まず四日にサータンク町営グラウンドで野球、公民館体育館、外運動場で排球、卓球と各会場とも暑さにもかかわらずの大熱戦がくりひろげられ、よるは、各地区の交換を兼ねて上野小グラウンドで民謡、フォークダンスの会を開いた。

同夜は農業センターで合宿、翌五日は朝八時から歌の練習が保坂公民館主事の指導で行なわれ、続

公民館にももの申す

おそれながら、町内や部落の公民館に参上する機会が多いわたくしが、これだけはセビ、みなさんに考えてほしいと思うことを一つだけ申しあげてみたい。みなさんのお力で、部落公民館の施設をもっと改善できないものだろうか。住居の改善がすすんだ。生活水準は日ごとに向上している。その中であって大事な公民館の改善だけが忘れられ、昔のままの古風な姿で残り残されていることは何とんでもないかである。もともと作業場と兼用で建てられたものが多く、当時はそれで満足していたが、現在は住民の社会教育の場として、その要求を十分に満たしてくるだけの施設が要求されてい

球技大会の結果

△野球		△排球		△卓球	
一位	上野	一位	仙田	一位	男子
二位	千手	二位	千手	二位	女子
三位	仙田	三位	仙田	三位	男子
					女子

いて十日町市社会教育課長上村政基氏の講演及び反省会で午後二時に二日間わたった第二回の青年祭は無事終了した。

る時代である。ちょうど端境期、講義や話しあいの最中にモミスリのはじまることもしばしばある。いかに大声をはりあげてもダメ、ゆられるとかえってねむくなり勉強どころのさわざではない。玄海灘を発動機船で越えるような環境では、いかに学習意欲があっても効果が半減する。

社会教育

疲れたからだにムチ打って公民館に集まる。古ぼけた二階にはハダカ電球が一つ、黒板の文字は読みとりにくく、エンピツやノートを持つ手はふるえ、うす暗くてよく記入できない。むしぶるのような暑さ窓を明けたら虫がはいった。男の人はアゲラをかくからまだよいとしても、ゆか板の上にウス

八月のくらしあれこれ

●食欲がないからと減食している、ますます夏に負けてしまします。おひやごはんが残っていたら、細いノリ巻きを作ってみたらどうでしょう。

●塩、砂糖、化学調味料を合わせたス煮立させて、これを熱いうちに冷えているごはんに打ち、ね

●食器が汚いからと減食している、ますます夏に負けてしまします。おひやごはんが残っていたら、細いノリ巻きを作ってみたらどうでしょう。

●塩、砂糖、化学調味料を合わせたス煮立させて、これを熱いうちに冷えているごはんに打ち、ね

●台風シーズンが近づいてきました。画をたてて実現するようなだてはないものだろうか。

たとえは、ハダカ電球を蛍光灯にとりかえる。ゴザをわめてタタミを入れる。すわっていてもメモミを入れる。すわっていてもメモミを少しだけの色をぬりかえる。窓の外にビニールのアミをはって虫のはいらないようにする。水道を引くか、井戸を掘るなりして湯茶が飲めるようにする。映写機を使えるようにコンセントをつける便所を改造する。いつかは作業場を分離する、などのように。

町の声

車の数が増加するにつれ、国道道町道を問わず車馬の往来が多く道路の損傷もまた甚しい。自転車やリヤカーなど人力による車は思うように通れない国道道をはかりに見受ける。こうした中にわが川西町を縦走する国道は、補修員の方がたのたゆまざる努力により常に歩行者も車馬も安全に通行できるよう維持されている。コタツにかじりつきたいみぞれの日も、炎天下にもうもうと飛散するほこりで呼吸困難にさえるきょうも。運転者のひとりとして関係者に心から感謝の意を表したい。

交通事故を未然に防止するには良い道路が必要であり、運転者自らが法規を守って正しい運転をしなければならぬが、自転車に乗る人、リヤカーを引く人の中には、左側を通るのか、右側を通ればよいのかよくわきまえていない人が案外多いように思う。これも車馬であれば左側を通るのが正しく一輪車を押す場合もこれに属する。国道道ばかりでなく、道巾の狭い町道でも車は頻りに走行している。暑いとついうっかりしやういものだがお互いに気を付けて交通事故を未然に防ぐことも道路を大切に扱いたいと願う。(H.S.)

部落便り

なんといつても困るのは雨もりですが、トタン屋根の穴あきなら大きくて厚地の布を当てて、コイルターをぬり、またその上に布を当ててコイルターをぬる、というように何回もくり返すとうまくふさがります。かわら屋根がずれている時は、もとの位置に直しかわらごとくはかわれているときは、とりのあえずトタン板をさし込んでおきます。こういう簡単なようですが、屋根は斜めになっていきますから、足をすべらせて落ちないようにくれぐれも注意ください。

長い休みにはいり、とかく解放的になりがちな夏。子どもの生活態度や、身の回りはどうでしょう。社会的環境やとりまく仲間たちによっても性格は変わる。両親や家庭の良き指導が常に必要な訳です。

農業共済事業を町で実施することになったのを契機に、水稻共済細目書(引受明細書)整備と基準収量の全面的改正事務が共済連絡員の協力を得て七月末に完成した。これに基づき水稻共済引受高は面積が千八十町歩で、共済金額が八千二百二十万円と決定し、その九割に相当する約七千三百八万円を県共済連を通じて国に再保険した。掛金は五二四〇〇を国が負担する。これに対する掛金総額は約二百五十六万円である。このうち百三十四万円が国庫負担で、残りの百二十二万円を加入者が負担し七月末に納入することになっており更にこのうちの九割に当たる九十六万円が保険料として県連を通じて農林省へ、残りの二十六万円は町に残し共済金支払いの財源となる。単位当たりの掛金は反収と危険度で異なる。

水稻共済引受高きまる

一義務を全うして権利を主張一

西町では、二十五円(右当三、七五〇円)と町議会で決定している。引受単位は土地台帳一筆を更に細分化し、共済支払対象になり易くするため現況の田一枚(一畝未満は合算)としている。よって評価の単位はこのたび作製した細目書による田一枚であり、これが三割以上の被害となった場合、即ち基準反収の七割以下になるとその下回った減収量一キロにつき二十五円の共済金が支払われることになる。

共済金は掛金と逆にその額を問わず九割が国ならびに県共済連から、一割が町に残った掛金から支払いされるが災害の少ない年の掛金は積み立てられ、多い年にはこれを取り崩して支払いに充てられるので長期に亘れば給付対反給付の保険理論のとおり掛金と支払い共済金は同額になる仕組みになっている。従って掛金の国庫負担分がこの制度の中で加入者が実質的に受ける利点といえる。このことは他の共済目的である蚕繭、家畜等にも通じてのことである。

終戦記念日 戦没者に黙とう

きたる八月十五日、東京において「全国戦没者追悼式」が行なわれます。これは国の主催で行なわれるもので当日は式場である日比谷公会堂に、天皇、皇后両陛下がご臨席になることになっております。大戦後十八年、わが国も大きく経済発展をとげ、平和な日々を送り迎えておりますが、戦争によって尊い命を失なわれた軍人、軍属、動員学徒、徴用工、一般市民内地を通じ約三百万人といわれる痛ましい犠牲者を思う時心からの悲しみを感ぜずにはいられません。終戦記念日の当日東京における追悼式を中心に全国的にいりいろな行事が行なわれますが、正午全国民いっせいに戦没者の冥福を祈り黙とうをささげます。町ではサイレンを鳴らしたま部落ごとに半鐘をならすなどして十二時を知らせます。

九月から 家屋調査が始まります

東京の式典には全国から遺族代表が参列します。当日は朝から半旗を掲げます。

当町では昭和三十三年の九月十月の間、固定資産税の公平を期するため家屋のいっせいの調査を実施いたしました。その後六七年の経過でしかありませんが、日本の経済状況は大発展をし、家屋に対する価値観も変わり、併せて居住部面の改善、施設の改良等も加わり再度家屋調査を実施しなければならぬことになりました。これは国の方針であり、明年中には日本中の家屋が全部再調査の運びとなりました。調査の折はみなさん方の大切なおすまいに立ち入らせていただくことになりましたので、私どもは心して臨まなければなりません。日程や能率等の関係から失礼の点不作法の点もあるかと考えられますがその節は何分ともよろしく

町の掲示板

※役場のお盆休日
十五日・十六日の二日間

X線間接撮影を受けよう

八月十二日(月)
午前十時から十二時
川西町公民館(上町・神社町・学校町・田中町・中央町)
八月十二日(月)
午後一時から三時
川西町公民館(中屋敷・寺尾・高原田・木島)
八月十三日(火)
午前十時から十二時
木落公民館(木落・寺ヶ崎)

かわにし俳壇

大倉 金子 洋石
百姓にある天恵や土用限り
放し鯉よく育ちたる稲の花
星名新田 渡辺 チャウ
朝顔に窓の日射のまばらなる
山合いの段々畑百合句ふ
大倉 恵 風
豊作の子想たちつつ稲の花
小田倉 田中 緑 風
月涼し稲みな露をのせて居り
岩清水小きき茶わんのそえてあり
写生というのは見たままを写すことであるが感懐深いものでなければ単なる報告に終ることに注意。

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

太田	誠	一雄	二男	田中
星名	京子	佐一郎	長女	高原田
太田	川玲子	勇四郎	長女	中央町
上村	和利	正男	長男	上野
富井	貴子	勝平	長女	上野
児玉	美佐	正栄	長女	上野

昇天—御めい福を祈る

和久井	洋司	桂治	三男	木落
永井	美江子	一市	二女	木落
田中	まゆみ	志摩	三女	仁田
藤田	幸子	義幸	長女	根深
高橋	聡	進一	長男	田戸
田中	かおる	昭二	長女	田戸
高橋	智重子	重信	長女	中仙田
中条	貞夫	春好	長男	大倉
片桐	定子	新太郎	二女	小白倉

編集後記

夏こそは子どもの天国です。子どもたちが一番望んでいるのは水泳だとか、町ではプールは水不足、ため池や川はキケンで泳がれぬとか、安心して十分泳がれる場所がないのが残念でなりません。なんとかよい場所を与えてやるのができないものかと先日もPTAで話題になりました。海に囲まれた日本、たとえ山の中にいても国民皆泳といきたいものです。きびしい暑さに稲作ももち直したかに見えます。

農業共済事業を町で実施することになったのを契機に、水稻共済細目書(引受明細書)整備と基準収量の全面的改正事務が共済連絡員の協力を得て七月末に完成した。これに基づき水稻共済引受高は面積が千八十町歩で、共済金額が八千二百二十万円と決定し、その九割に相当する約七千三百八万円を県共済連を通じて国に再保険した。掛金は五二四〇〇を国が負担する。これに対する掛金総額は約二百五十六万円である。このうち百三十四万円が国庫負担で、残りの百二十二万円を加入者が負担し七月末に納入することになっており更にこのうちの九割に当たる九十六万円が保険料として県連を通じて農林省へ、残りの二十六万円は町に残し共済金支払いの財源となる。単位当たりの掛金は反収と危険度で異なる。

この制度が法律である以上、掛金納入など義務を全うし、共済金支払いという権利を主張したいと念じています。加入者各位もこの気持ちで三割以上の減収が見込まれるところは、九月上旬評価員を通じて被害申告し、共済金の支払いを受けてください。

この制度が法律である以上、掛金納入など義務を全うし、共済金支払いという権利を主張したいと念じています。加入者各位もこの気持ちで三割以上の減収が見込まれるところは、九月上旬評価員を通じて被害申告し、共済金の支払いを受けてください。

この制度が法律である以上、掛金納入など義務を全うし、共済金支払いという権利を主張したいと念じています。加入者各位もこの気持ちで三割以上の減収が見込まれるところは、九月上旬評価員を通じて被害申告し、共済金の支払いを受けてください。

この制度が法律である以上、掛金納入など義務を全うし、共済金支払いという権利を主張したいと念じています。加入者各位もこの気持ちで三割以上の減収が見込まれるところは、九月上旬評価員を通じて被害申告し、共済金の支払いを受けてください。

この制度が法律である以上、掛金納入など義務を全うし、共済金支払いという権利を主張したいと念じています。加入者各位もこの気持ちで三割以上の減収が見込まれるところは、九月上旬評価員を通じて被害申告し、共済金の支払いを受けてください。